



学校教育目標

ここに学び ここで遊ぶ ここがふるさと上山の子

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamiyama/>

# か み や ま



## 挨拶！

( コロナ禍で、密にならない距離やマスク等でコミュニケーションがとりづらいからこそ！ )

校長 佐藤 康晴

新年明けましておめでとうございます。依然として続く新型コロナウイルス感染症の収束を願うとともに、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年も、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら教育活動を進めるとい一年になりました。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今朝、昇降口で冬休み明けの子どもたちを迎え入れていると、沢山の子どもたちが「おはようございます！」と元気に挨拶をしてくれました。本当に気持ちの良い挨拶で、寒空の中で震える私の心の中に、ぱあっと温かな灯をともししてくれるようでした。上山小学校では、子どもたちが、年間を通して「挨拶」について考え、取り組んでいます。その成果が伝わるようでした。

- 【おはよう】は、朝の早い時間に出会った人に「お早いですね。お元気で何よりです。」などの略で、朝早くから働く人に向かって言うねぎらいの気持ちがかかれています。
- 【こんにちは】は「今日（こんにち）は、ご機嫌いかがですか。」と相手を気遣う気持ちが続きます。
- 【さようなら】は「然様（さよう）ならば、お別れですね。ご機嫌よろしく。」と別れた後のことも思いやる気持ちが込められています。
- 【ありがとう】は「有り難し（ありがたし）こと」で「めったにないこと」「貴重なこと」への感謝の気持ちを表しています。

そして新年の挨拶【あけましておめでとう】の【おめでとう】は、愛おしく思ったり、心惹かれたりする様子を表した「愛でる（めでる）」に、「すごく」「とても」程度が大きいことを表す古語の「甚し（いたし）」がついた言葉が変化してできています。賞賛に値する状態で、とても感動し、愛おしい気持ちを表しています。「挨拶」には、相手への思いやりや優しい気持ちが込められているのです。

新型コロナウイルス感染拡大によって、密にならない距離やマスク等で表情が分かりにくいなど、子どもたちをはじめ社会の中に、コミュニケーション自体がとりづらい厳しい状況があるからこそ、「挨拶」の大切さを理解し実践していける力が大切なのではないのでしょうか。新年早々に「挨拶」の大切さを、子どもたちから感じさせてもらった、素敵で気持ちの温かい新春の始まりでした。子どもたちに感謝です！これからも学校は、「挨拶」を通して、自分を含めた一人ひとりを大切にする子どもたちを育てていきます。

本年も保護者の皆様、地域の皆様のご理解並びにご支援・ご協力をいただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。